

公益社団法人 全国学校栄養士協議会会長賞

『給食は進化する』

福島県会津坂下町立坂下東小学校 五年 石田 倭士

ぼくのばあちゃんは、毎月の給食の献立表を見るのが楽しみだそうです。「まっくろくろすけって何。」りっちゃんサラダってどんなの。」献立表を見ながらばあちゃんがぼくに聞きます。ぼくがメニューの味や具の説明をすると、

「ばあちゃんの時はなかったし、お母さんの時もなかったな。今の給食は外国の料理がでたり、他県の郷土料理もでておもしろいね。」とおどろきます。

ばあちゃんの小学校の時にはどんな給食を食べていたのか聞きました。ばあちゃんの頃は、給食が始まったばかりの時だったそうで、ご飯ではなくパンが主食だったことや牛乳の代わりに脱脂粉乳だったことを知りました。脱脂粉乳とは、牛乳から脂肪分と水分を取り除き粉末にしたものでとても栄養があるそうです。脱脂粉乳はあまりおいしくなかったようですが、毎日の給食が楽しみだったと言っていました。カレーやミートソースなど給食だからこそおいしかったメニューもあつたそうです。じいちゃんは、「給食が楽しみだから学校に行ってた。」なんて言っていました。

給食とは・・・と考えた時、栄養のバランスのとれた食事ということはみんなが知っていることです。でもそれは大人が考えていることで、ぼくたちにとって給食は学校に行く楽しみの一つです。楽しみながら健康になれる給食は最高です。毎朝献立表を見て好きなメニューだとやる気がでます。

まっくろくろすけやりっちゃんサラダは、ぼくが好きなメニューです。名前だけではどんな味で何が入っているかわからないけど、配られると食べるのが楽しみになります。きつとばあちゃんたちも新しいメニューの時は、同じ気持ちになったんだろうなと思います。メニューの種類や材料は時代に合わせて変化しても「給食」が共通の話題になり、世代をこえて思い出話ができるのはいいことだと思います。ぼくとばあちゃんの年はすぐく離れているけど、毎日食べてきた給食の話をするとう話が広がり盛り上がります。休みの日にばあちゃといっしょに「まっくろくろすけ」を作りました。白玉の形がいびつになったり甘さがたりなかったりなど給食のまっくろくろすけとは違ったけど、ばあちゃんと笑いながら悩みながら作ったまっくろくろすけはとてもおいしく感じました。時々ばあちゃんと給食をまねして料理する時間が、ぼくは大好きです。

今と昔、時代は違っても給食を楽しみに学校に行く子どもがたくさんいるのは同じなんだと思います。これからも食材を育ててくれている人、調理してくれる人に感謝しておいしく食べます。ぼくが大人になったらどんな給食が作られるのかな、楽しみです。